

セルフモニタリング報告書(令和2年度分)

令和3年4月30日

施設名 苦小牧市屋内ゲートボール場
 指定管理者名 ㈱苦小牧エージェンシー
 所管課名 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	概ね達成	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	夏期対策により夜間利用者が増加	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっている課(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおりおこなわれているか。		A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等の協働・連携に向けた取組が行われているか。	春・秋の大掃除(地域) G・B協会等との機関	A・B・C・D・E
2 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	アンケートで高い数値	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	利用者と受付時にコミュニケーションを大事にしている。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	要望等自分達でできるものは即対応	Ⓐ・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか、またその取組は十分か。		Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	見積書を提出させ 妥当な金額かを確認している。	Ⓐ・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。		Ⓐ・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。		Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	ミーティング等を通して向上に努めている	Ⓐ・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか(使用料の減免、還付含む)。	適切に処理されている	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	適正におこなっている	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	毎月会社に来る税理士に見てもらっている	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適正に処理	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に処理	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策(事故防止等)は十分だったか。		Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	適正に処理	Ⓐ・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託先、地域貢献に努めているか。	市の登録業者を最優先として選定	Ⓐ・B・C・D・E

- A:目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B:目標、事業計画通り又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C:概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D:目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容で下回っており、又は管理運営において一部不適切な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E:目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価



指定管理者の自己評価(全体を通して)

今年度も昨年度同様に夏場(4月～10月)対策として、専用利用料金を平日終日時間帯まで半額設定をした。令和2年度の専用利用者は、対前年848名の増(122.2%)、対前々年比では、885名の増(123.4%)となり、夏場の対策は功を奏していると考えられます。

専用・個人利用の合計は、6,694名で対前年99.6%、対前々年比で77.5%です。

今年度は、ミニサッカーを小学6年生以下(前年は3年生以下)まで拡大、また徹底したコロナ対策を実施してのプロレス興業の許可により利用人員の増に努めたが、高校生の部活、中学生の自粛等により減少となった。

利用収入は一般の専用利用の伸びが大きく、2,084千円と対前年で134.1%、対目標113.9%と伸ばすことができた。

要望事項のあるコートのコロボコですが、今年度の目標として掲げた手作業によるこまめな整備の実施、年末年始の休館日には会社の応援を得て、ロードローダーによる整地を実施した。

西日対策についても、3月に残りの窓(一昨年度にも実施)にメッティングシート貼付け工事を実施した。

アンケート調査では、「満足」「やや満足」が88.6%で目標の90%達成にもう一息です。特に職員の対応については「満足」「やや満足」が100%、また新たに設けた施設のコロナ対策についても100%の回答を得ています。記入式の施設の「お気づきの点」欄には、夏期期間の専用料金半額は続けてほしいとの要望もありました。

コロナ禍の中で一年を通し、利用人員・利用収入増の取組みと満足度向上の対策等に取り組む、事故やケガ人もなく運営できたことは、評価できると考えます。